

都市社会における＜つながり＞ の位相とフードデザート

浅川達人
明治学院大学

Contents

- 人口動態からみた，郊外化と再都市化
 - － 郊外化：高度経済成長期～バブル経済期
 - － 再都市化：バブル崩壊後（1997年以降）
- 社会地図でみる，郊外化と再都市化
 - － 団塊の世代の分布
 - － 脱工業化に伴う城東・城南地区の変化
 - － 都心における分譲マンション・ブーム
- <つながり>の位相
 - － 都会人の社会関係
 - － 地域特性と<つながり>の位相
- フードデザート問題

はじめに

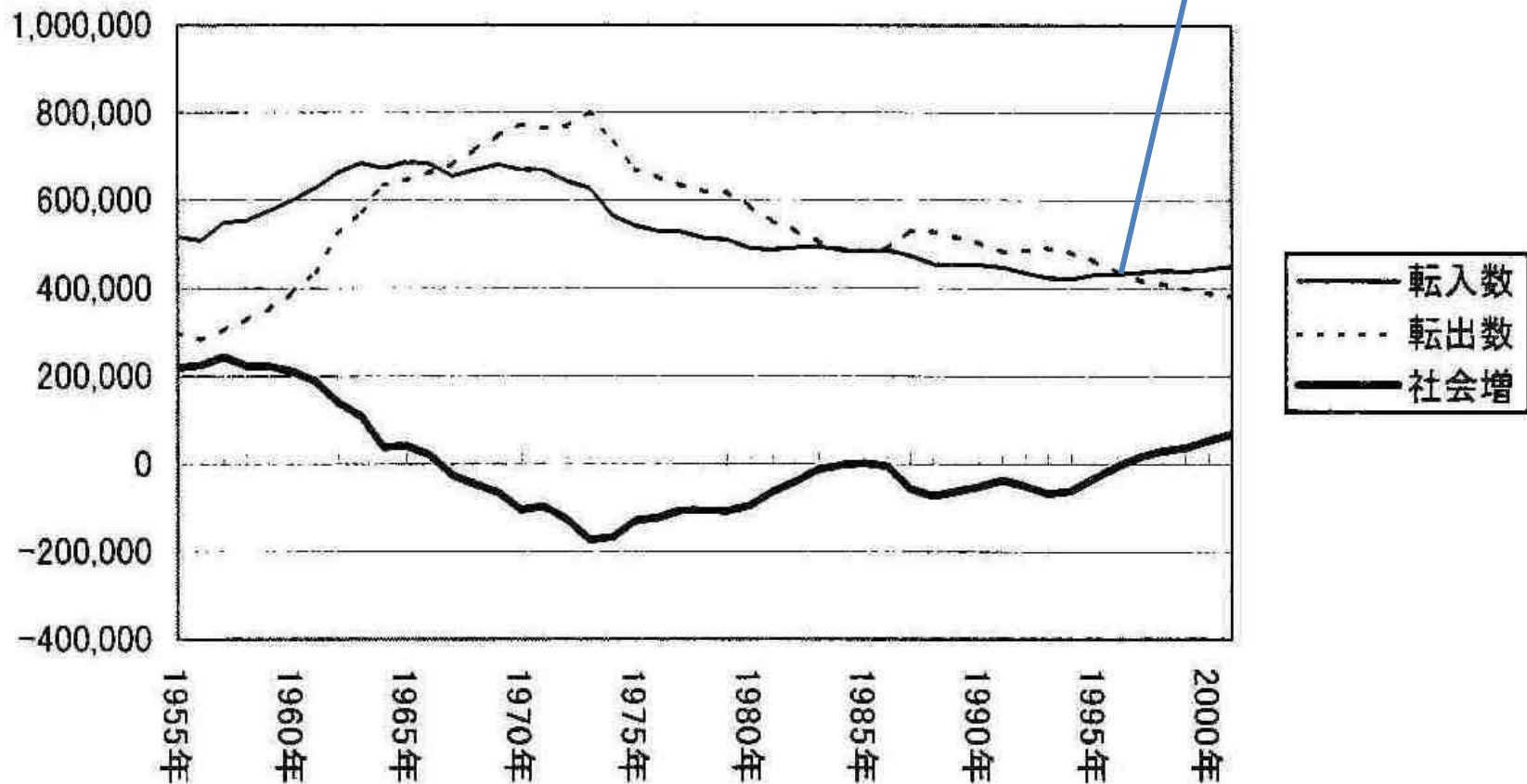
- 都市社会における＜つながり＞の位相とFDs
 - 郊外化と再都市化(@東京大都市圏)
 - 人と人との＜つながり＞が変化(共同処理, 専門処理, 希薄化, クレーマー)
 - FDs問題(買い物弱者問題, 買い物難民問題などはその一部)
- 市民社会論の不在
 - 町内会, 労働組合, などの伝統的な中間集団への所属を忌避
 - 新自由主義への傾倒
 - 成長至上主義 $\leftrightarrow$ 縮小する社会

Contents

- 人口動態からみた、郊外化と再都市化
 - 郊外化：高度経済成長期～バブル経済期
 - 再都市化：バブル崩壊後（1997年以降）
- 社会地図でみる、郊外化と再都市化
 - 団塊の世代の分布
 - 脱工業化に伴う城東・城南地区の変化
 - 都心における分譲マンション・ブーム
- <つながり>の位相
 - 都会人の社会関係
 - 地域特性と<つながり>の位相
- フードデザート問題

東京都の社会動態

図 1.3 東京都の社会動態

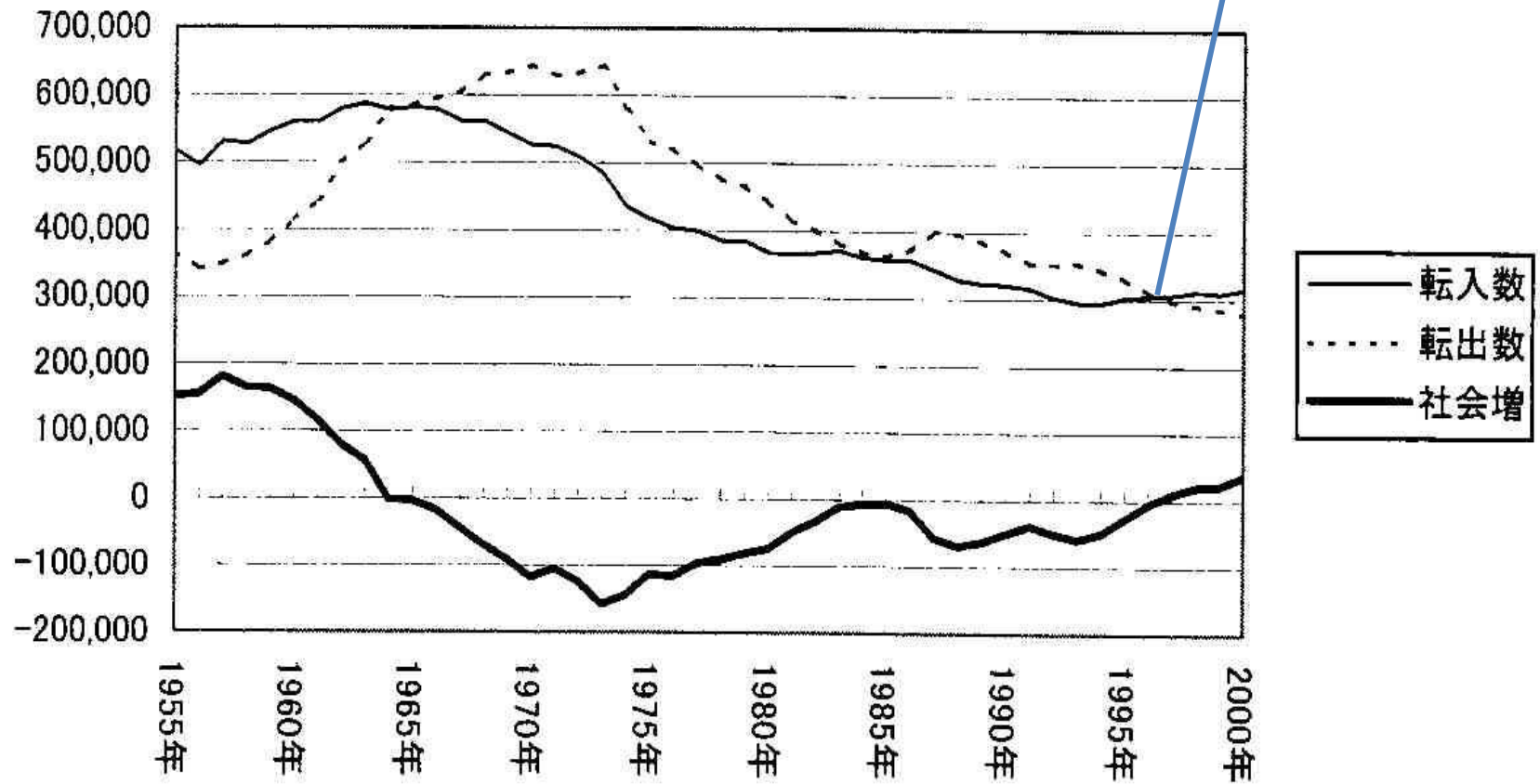


松本康「定住都市・東京の形成と変容」
松本康編『東京で暮らす』東京都立大学出版会2004

東京都区部の社会動態

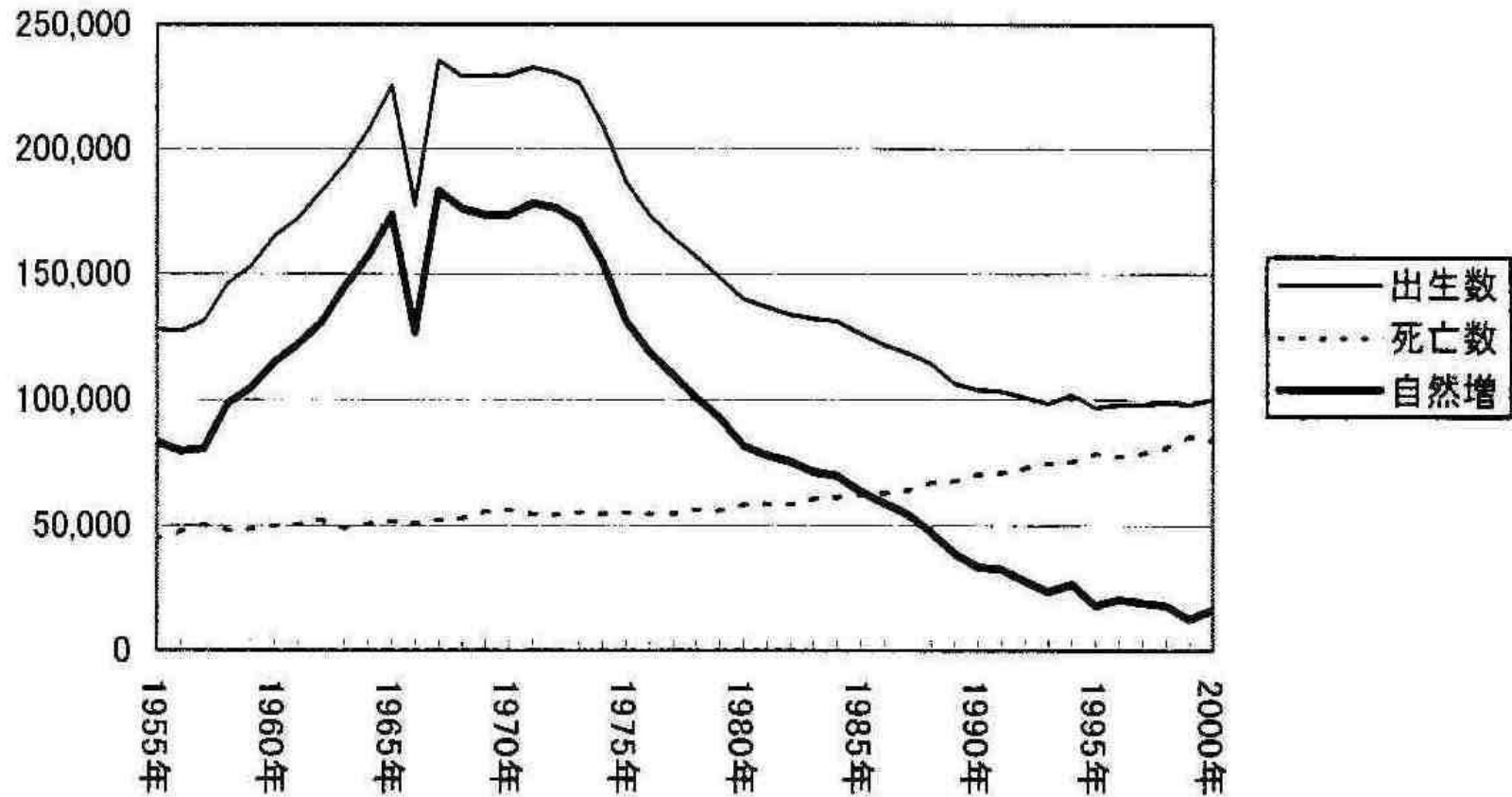
図 1.4 東京都区部の社会動態

1997年



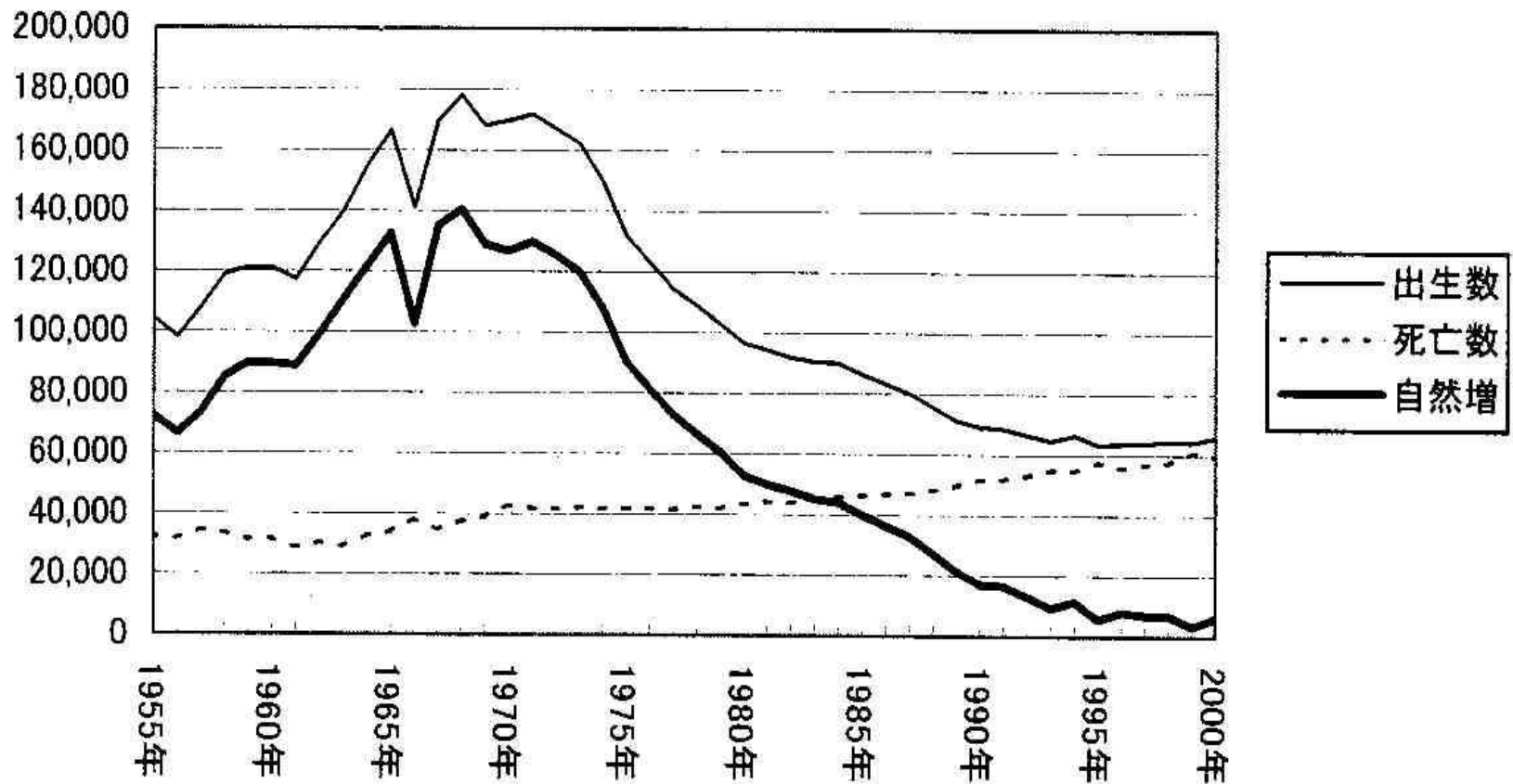
東京都の自然動態

図 1.5 東京都の自然動態



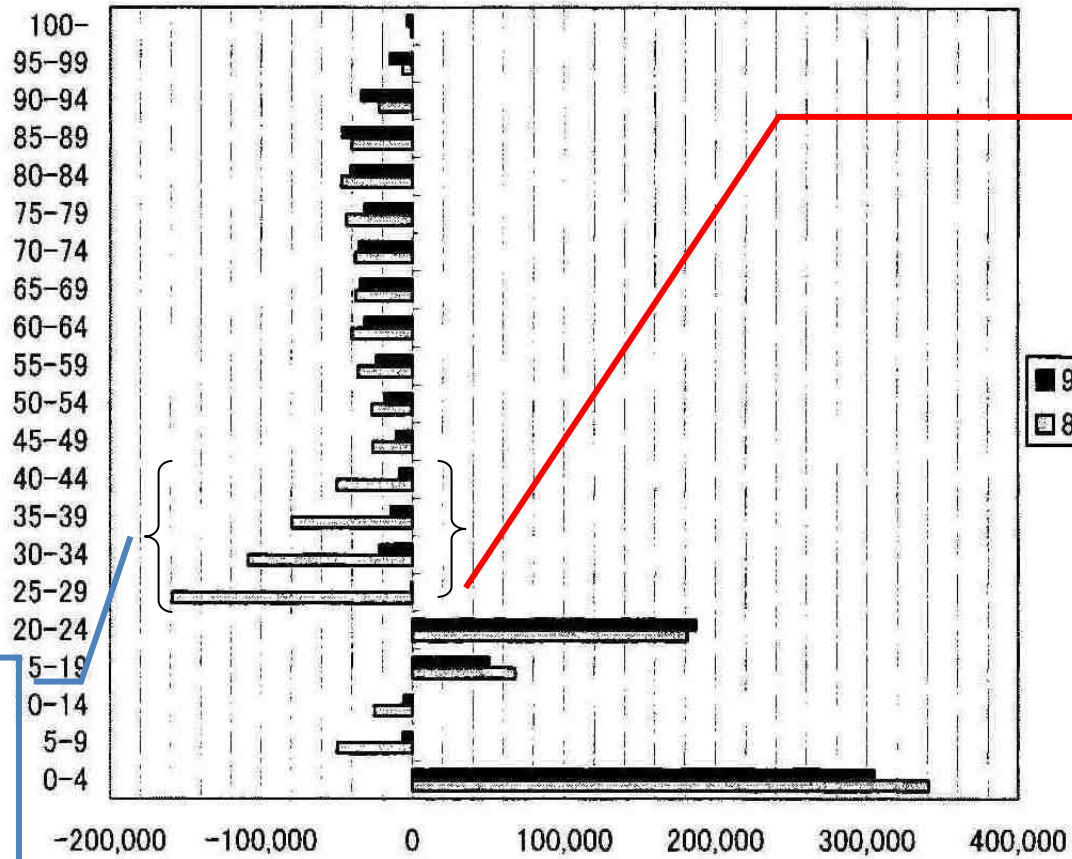
東京都区部の自然動態

図 1.6 東京都区部の自然動態



都心回帰／再都市化

図 1.9 コーホート別人口の変化（東京都区部）



95-00年においては
流出せずに都
区部にとどまっ
ていた！

85-90年
には流出し
ていた

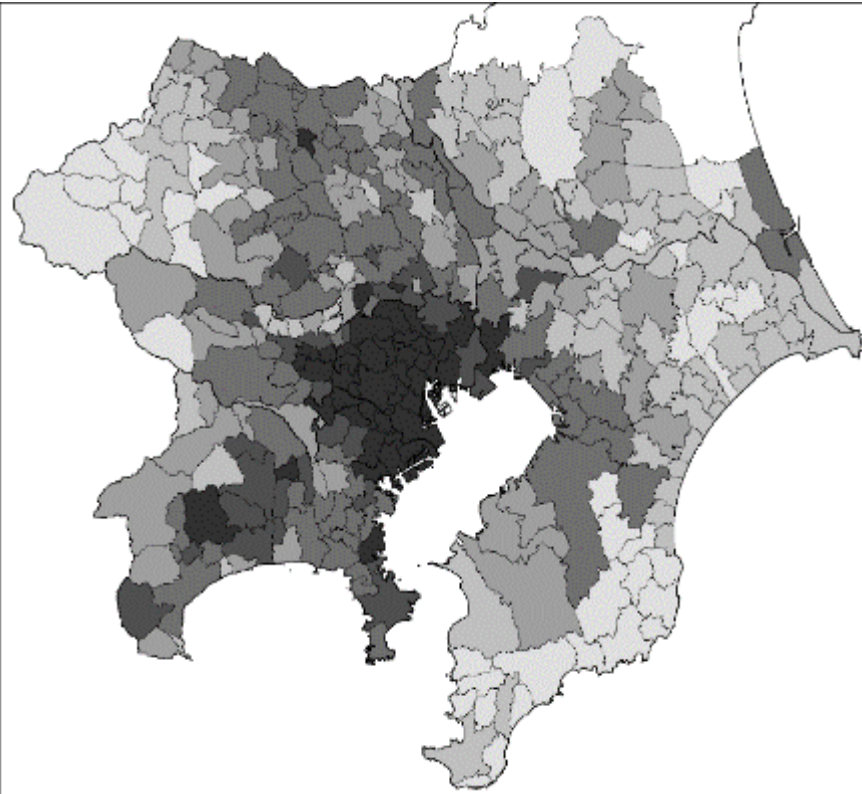
再都市化

Contents

- 人口動態からみた、郊外化と再都市化
 - 郊外化：高度経済成長期～バブル経済期
 - 再都市化：バブル崩壊後（1997年以降）
- 社会地図でみる、郊外化と再都市化
 - 団塊の世代の分布
 - 脱工業化に伴う城東・城南地区の変化
 - 都心における分譲マンション・ブーム
- <つながり>の位相
 - 都会人の社会関係
 - 地域特性と<つながり>の位相
- フードデザート問題

団塊世代の流入

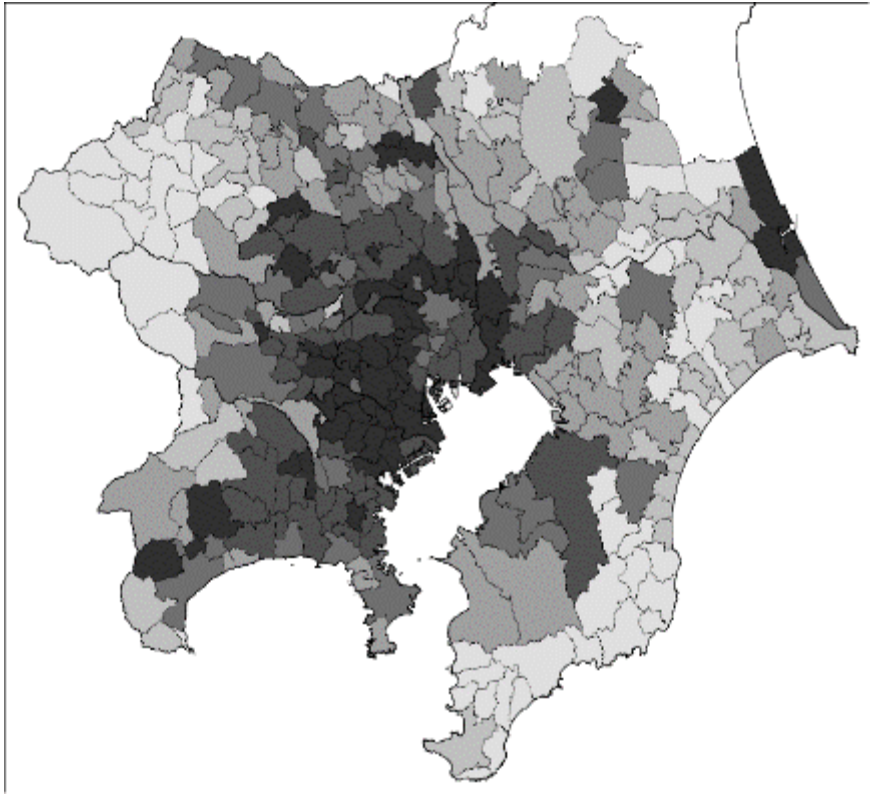
—地方から東京へ—



1970年

20—24歳

(地方から東京へ)

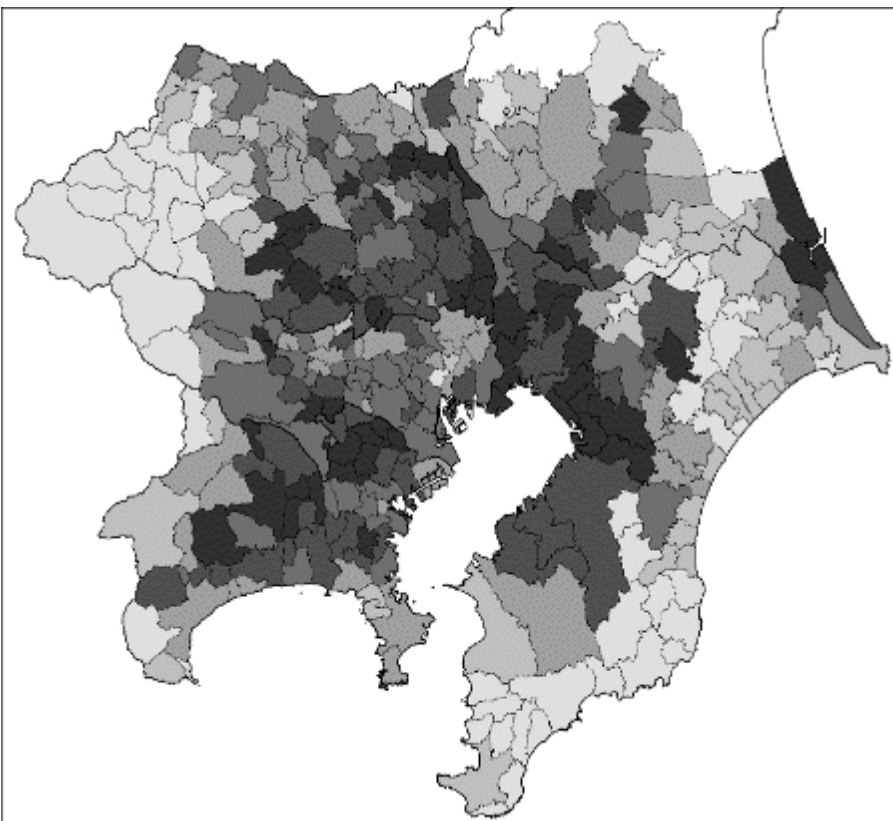


1975年

25—29歳

(離心化傾向)

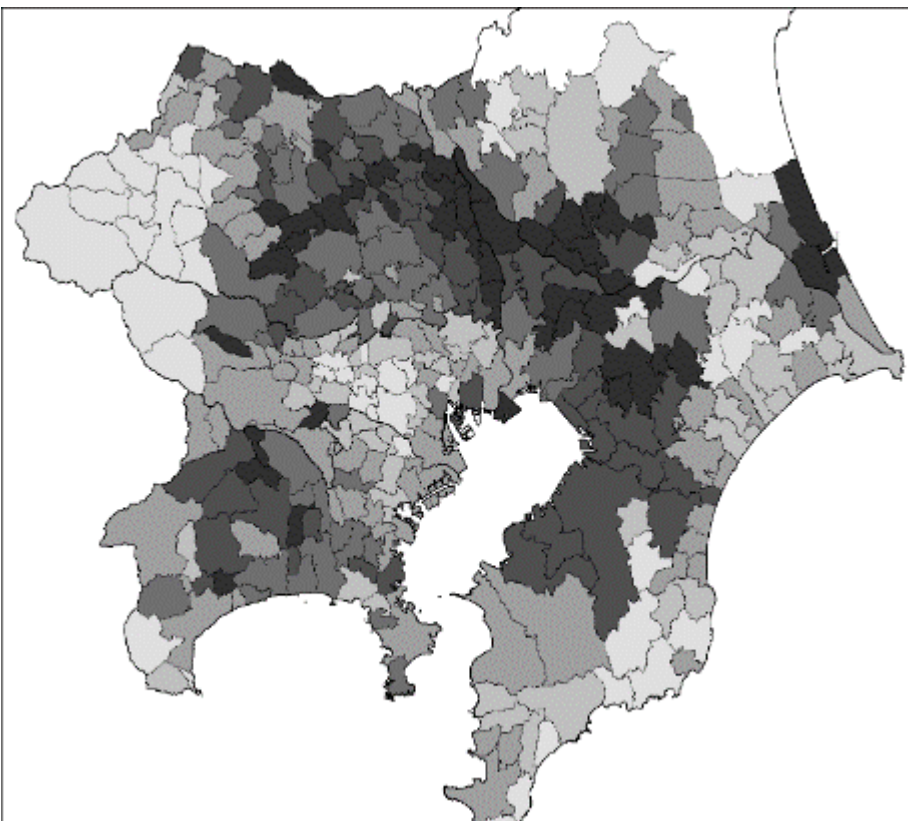
団塊世代の移動 — 郊外化 —



1980年

30—34歳

(80年の年少人口比率と同じ分布)



1990年

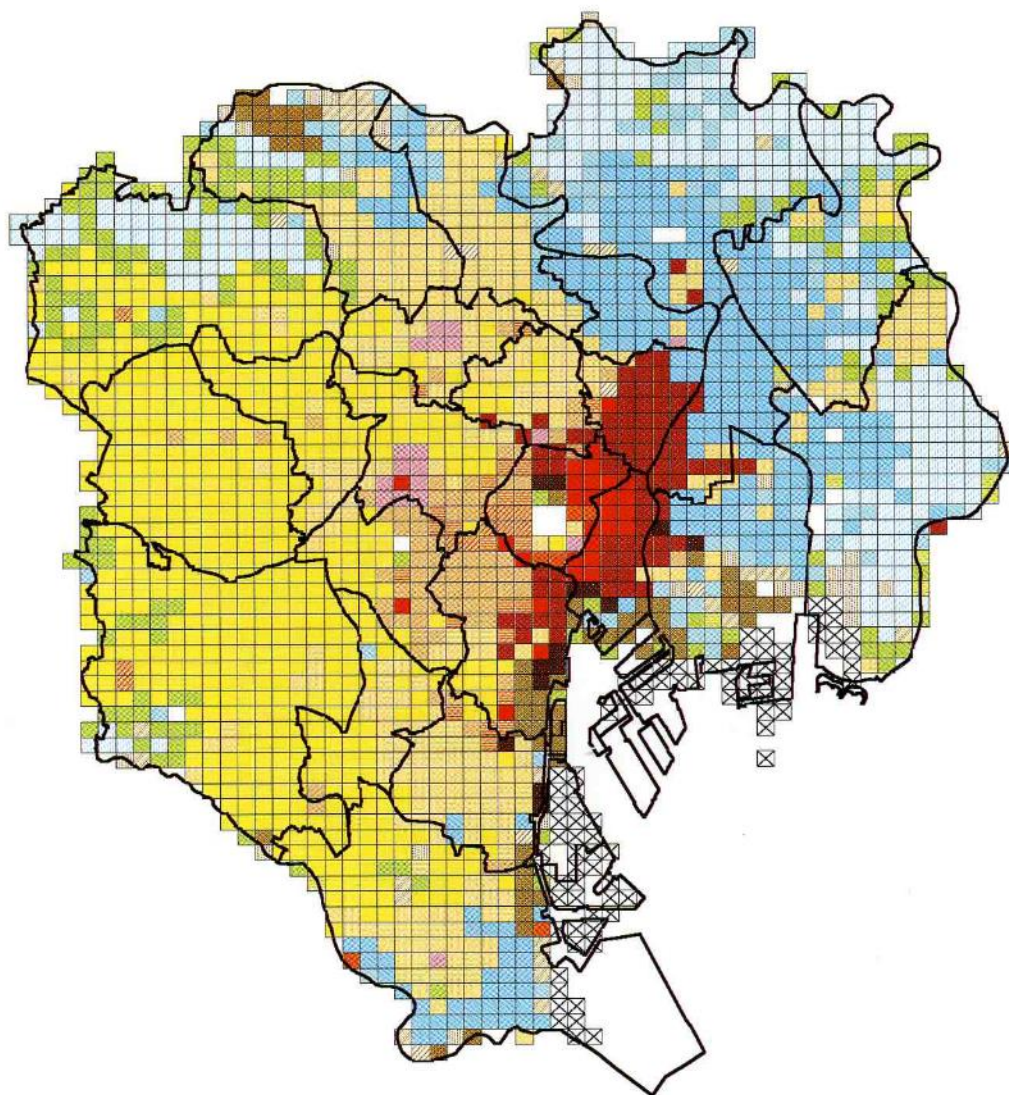
40—44歳

(75—90年人口増加率と同じ分布)

Contents

- 人口動態からみた、郊外化と再都市化
 - 郊外化：高度経済成長期～バブル経済期
 - 再都市化：バブル崩壊後（1997年以降）
- 社会地図でみる、郊外化と再都市化
 - 団塊の世代の分布
 - 脱工業化に伴う城東・城南地区の変化
 - 都心における分譲マンション・ブーム
- <つながり>の位相
 - 都会人の社会関係
 - 地域特性と<つながり>の位相
- フードデザート問題

東京23区クラスター図75



カラー図5 東京23区クラスター図75

典型的繁華街 (29)	官庁・オフィス街 (6)
伝統的卸商業地区 (85)	低人口密度地域 A (43)
繁華街化途上旧住宅地 (24)	低人口密度地域 B (20)
オフィス街途上旧住宅地 (11)	低人口密度地域 C (32)
流動的繁華街 (18)	低人口密度地域 D (27)
商店街化旧住宅地 (76)	低人口密度地域 E (12)
大型卸流通業務地区 (14)	低人口密度地域 F (9)
商業化途上の既成住宅地 (375)	除外数 (84)
ホワイトカラー既成住宅地 (611)	
混住新興住宅地 (171)	
ブルーカラー既成住宅地 (315)	
ブルーカラー新興持家住宅地 (275)	
ブルーカラー新興借家住宅地 (100)	

工業型社会の空間構成

20のクラスター
の内、一部を取り
出して作図

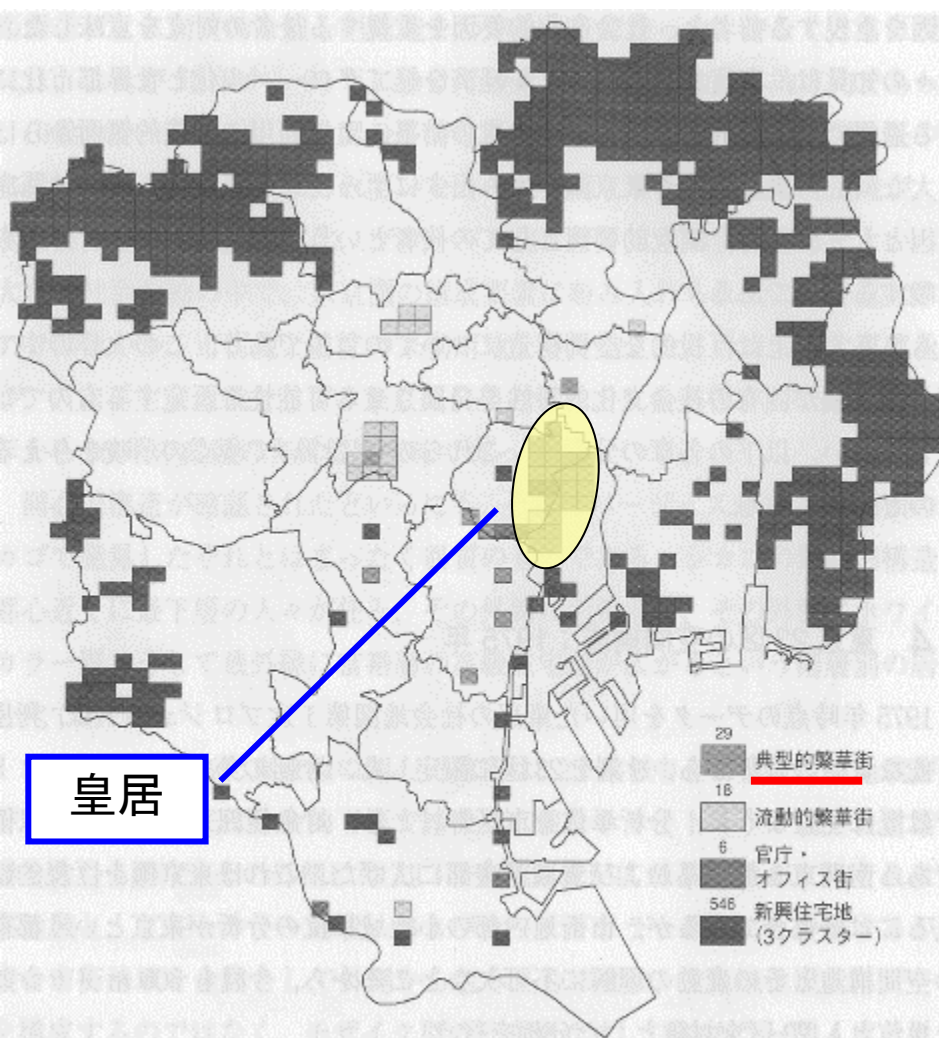


図 2B1 中心業務地区と新興住宅地：1975 年

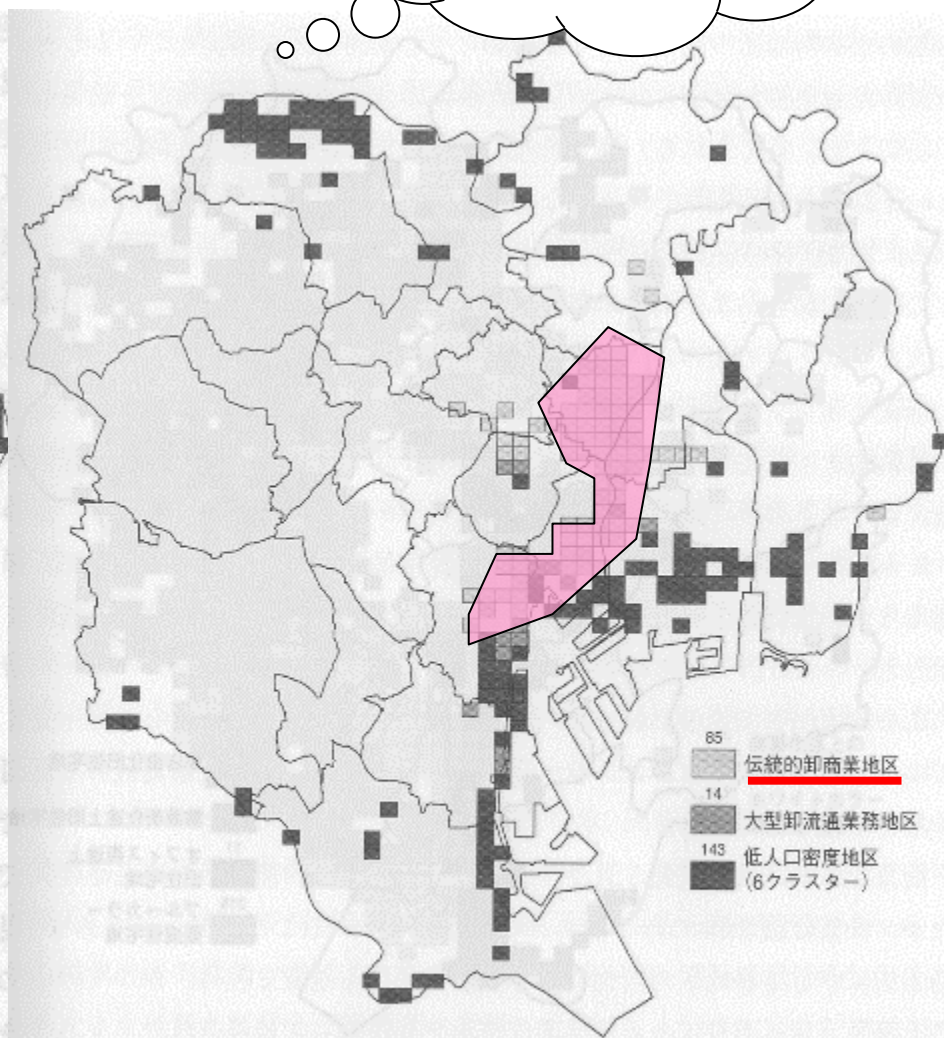


図 2B2 卸商業地区と低人口密度地域：1975 年

工業型社会の空間構成

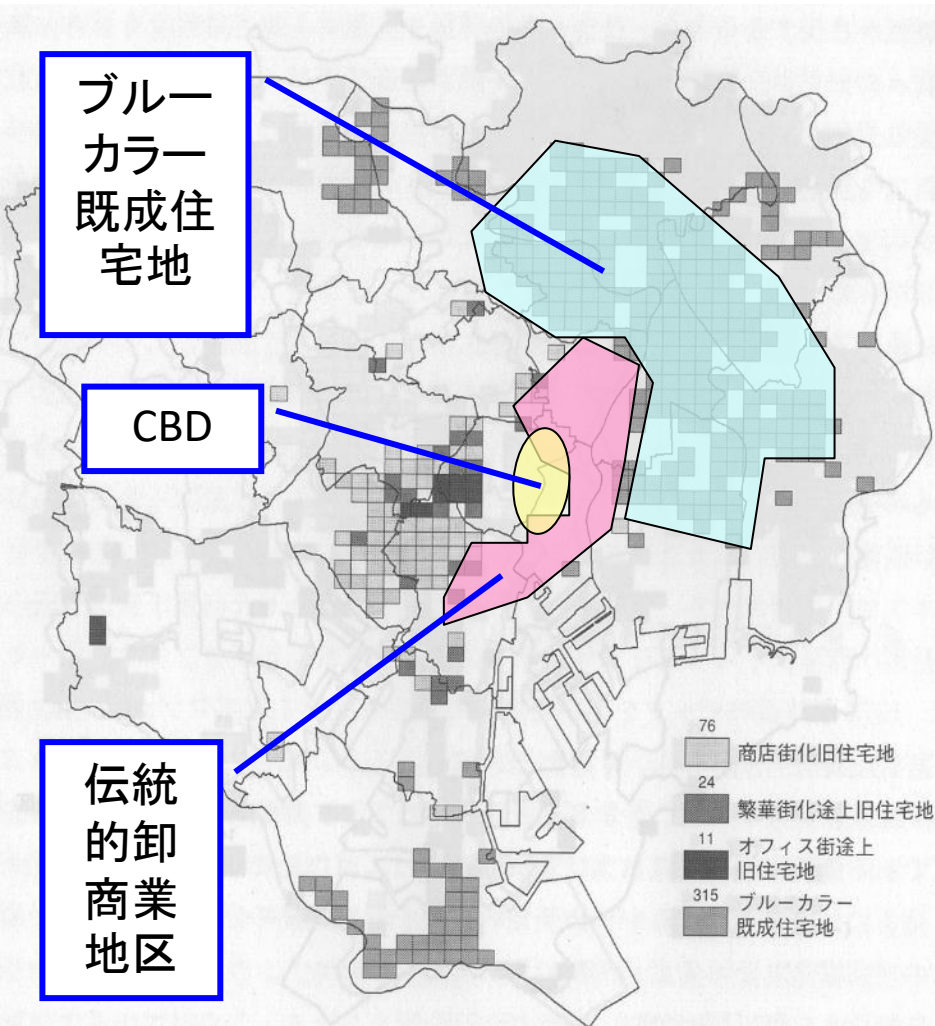


図 2B3 商業化された旧住宅地とブルーカラー既成住宅地：1975 年

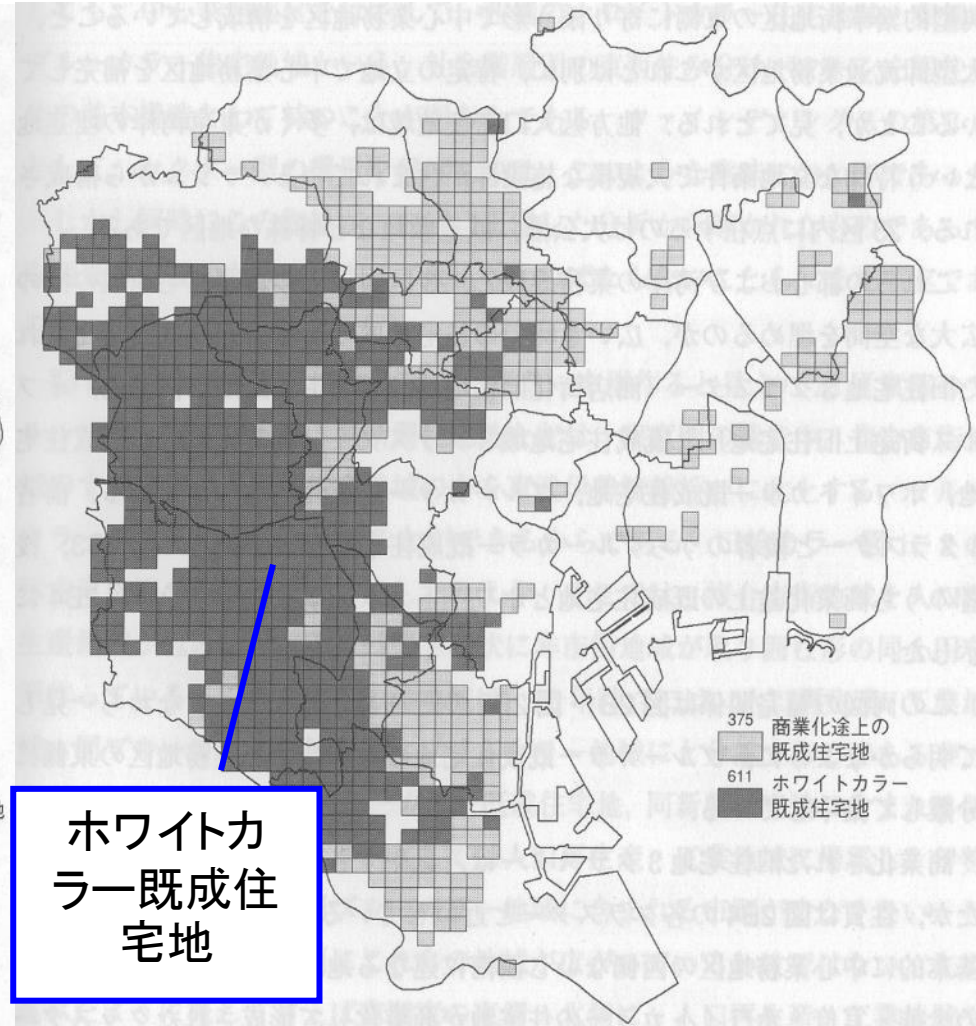
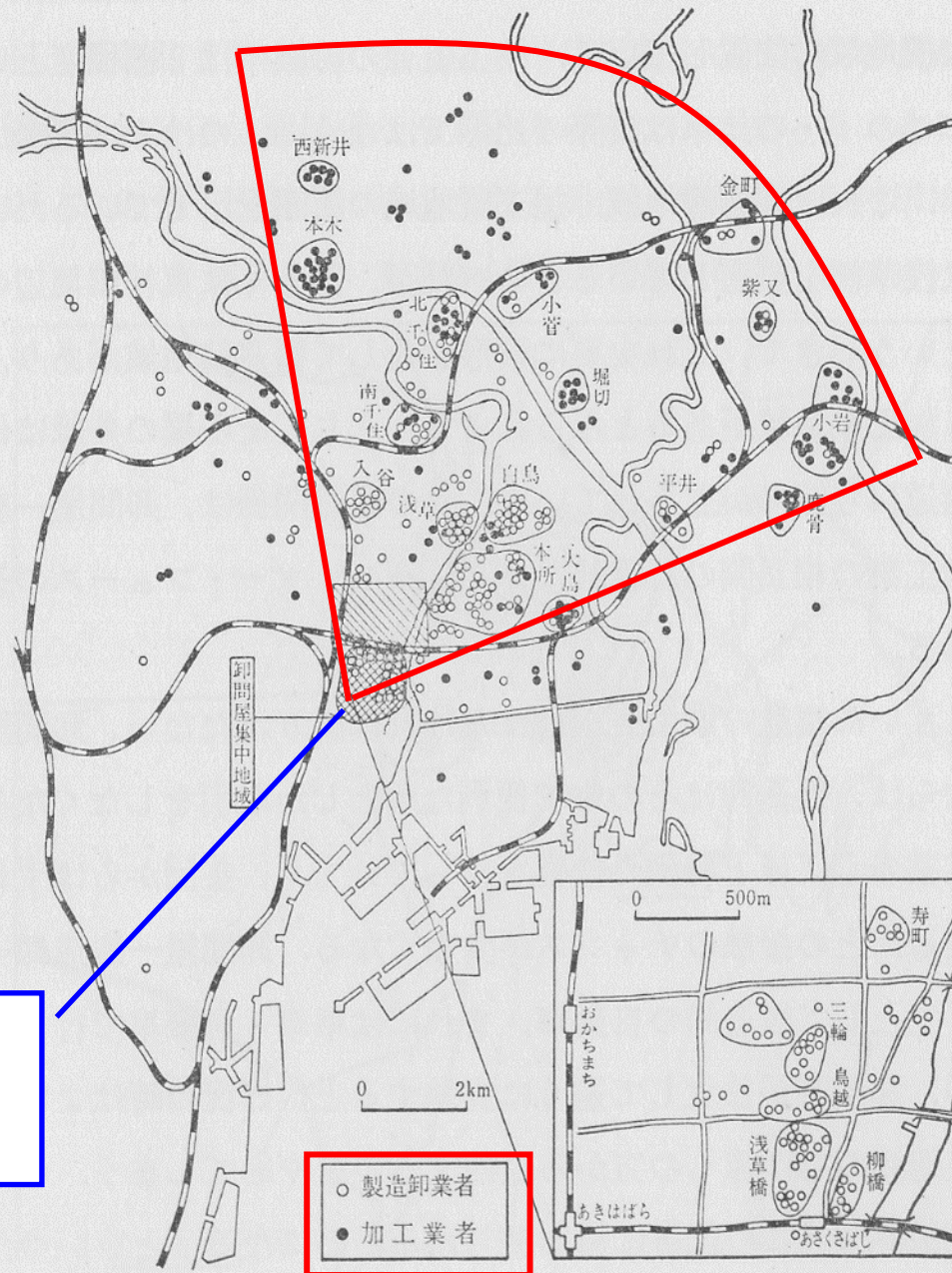


図 2B4 商業化途上の既成住宅地とホワイトカラー既成住宅地：1975 年

工業化を支えた産業集団の集積

- 産業集団の集積(板倉ほか, 1973)
 - 東京, 大阪で生産された日用消費財は日本全国の市場に出荷され消費された.
 - ⇒そのためには, **加工業者(零細規模)**と, **卸問屋や製造卸などの流通部門**が機能的にも空間配置的にも**結合し重なり合って発展**することが不可欠
 - 親工場 – 下請工場 – 内職
 - 卸問屋 – 製造卸 – 加工業 – 内職
- } 産業集団の集積

第3-2図 東京袋物産業分布図 (昭和44年)



(『都市の工業と村落の工業』より)

板倉ほか(1973:71)

工業型社会の空間構成

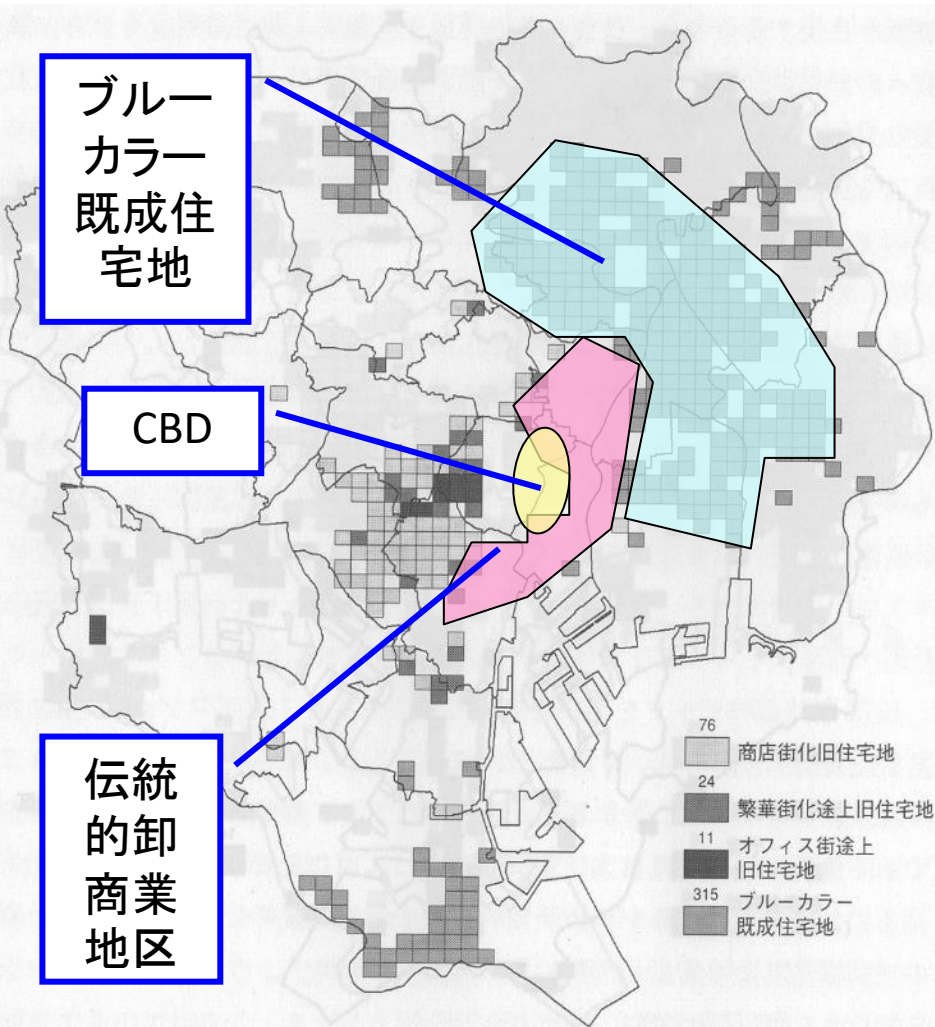


図 2B3 商業化された旧住宅地とブルーカラー既成住宅地：1975 年

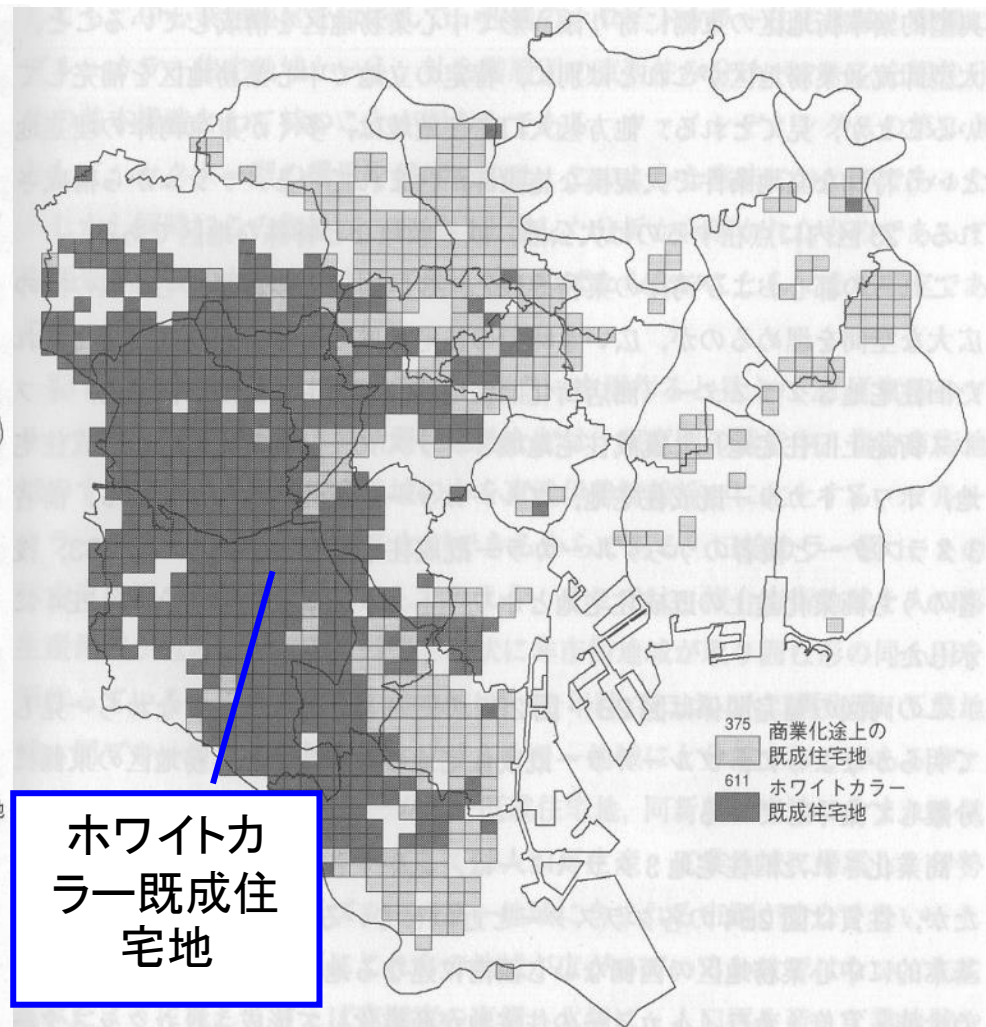


図 2B4 商業化途上の既成住宅地とホワイトカラー既成住宅地：1975 年

Contents

- 人口動態からみた、郊外化と再都市化
 - 郊外化：高度経済成長期～バブル経済期
 - 再都市化：バブル崩壊後（1997年以降）
- 社会地図でみる、郊外化と再都市化
 - 団塊の世代の分布
 - 脱工業化に伴う城東・城南地区の変化
 - 都心における分譲マンション・ブーム
- <つながり>の位相
 - 都会人の社会関係
 - 地域特性と<つながり>の位相
- フードデザート問題

脱工業型社会へ：製造業の分散

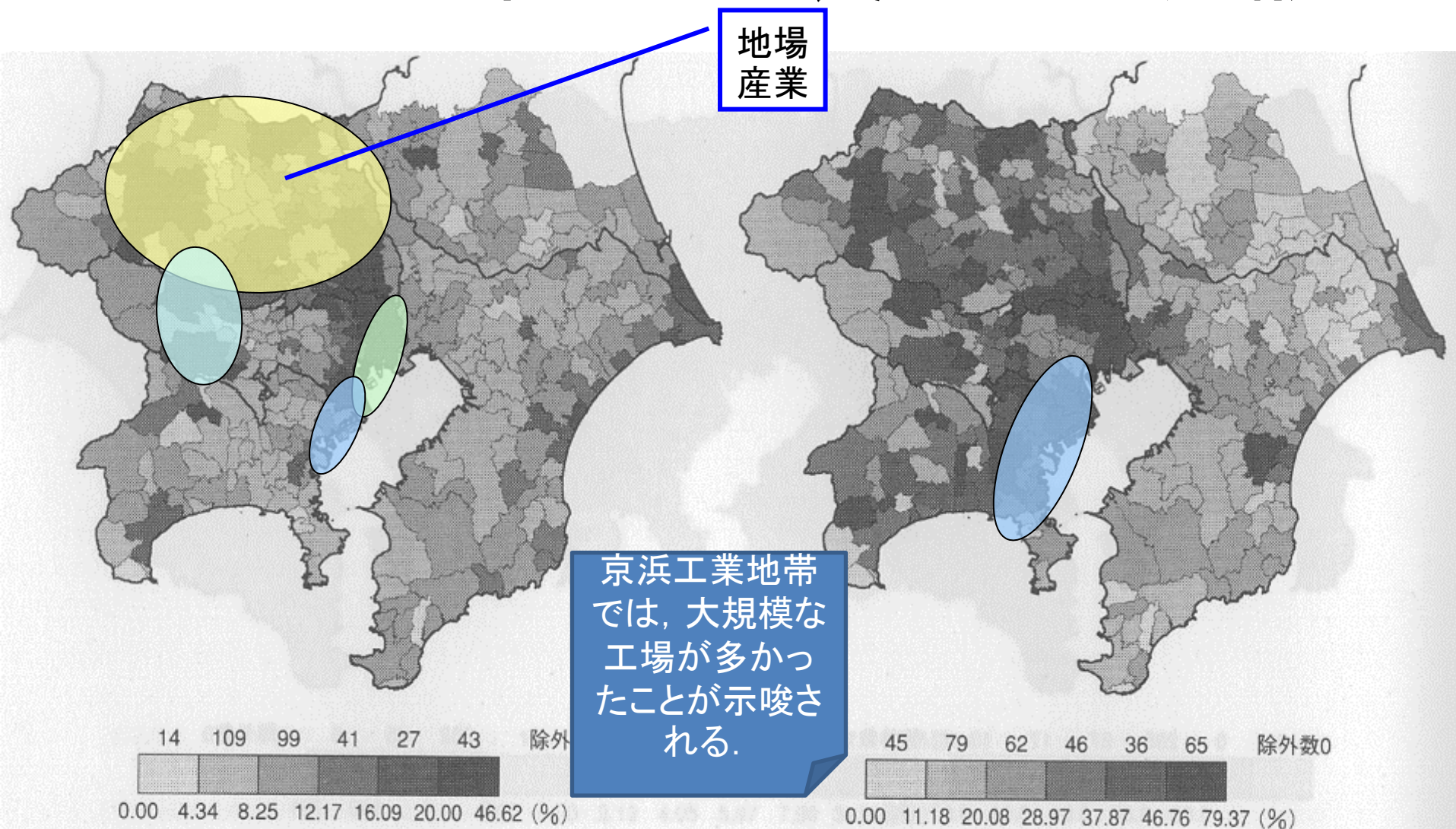


図 6A23 製造業事業所比率 60

図 6A24 製造業従業者比率 60

脱工業型社会へ：製造業の分散

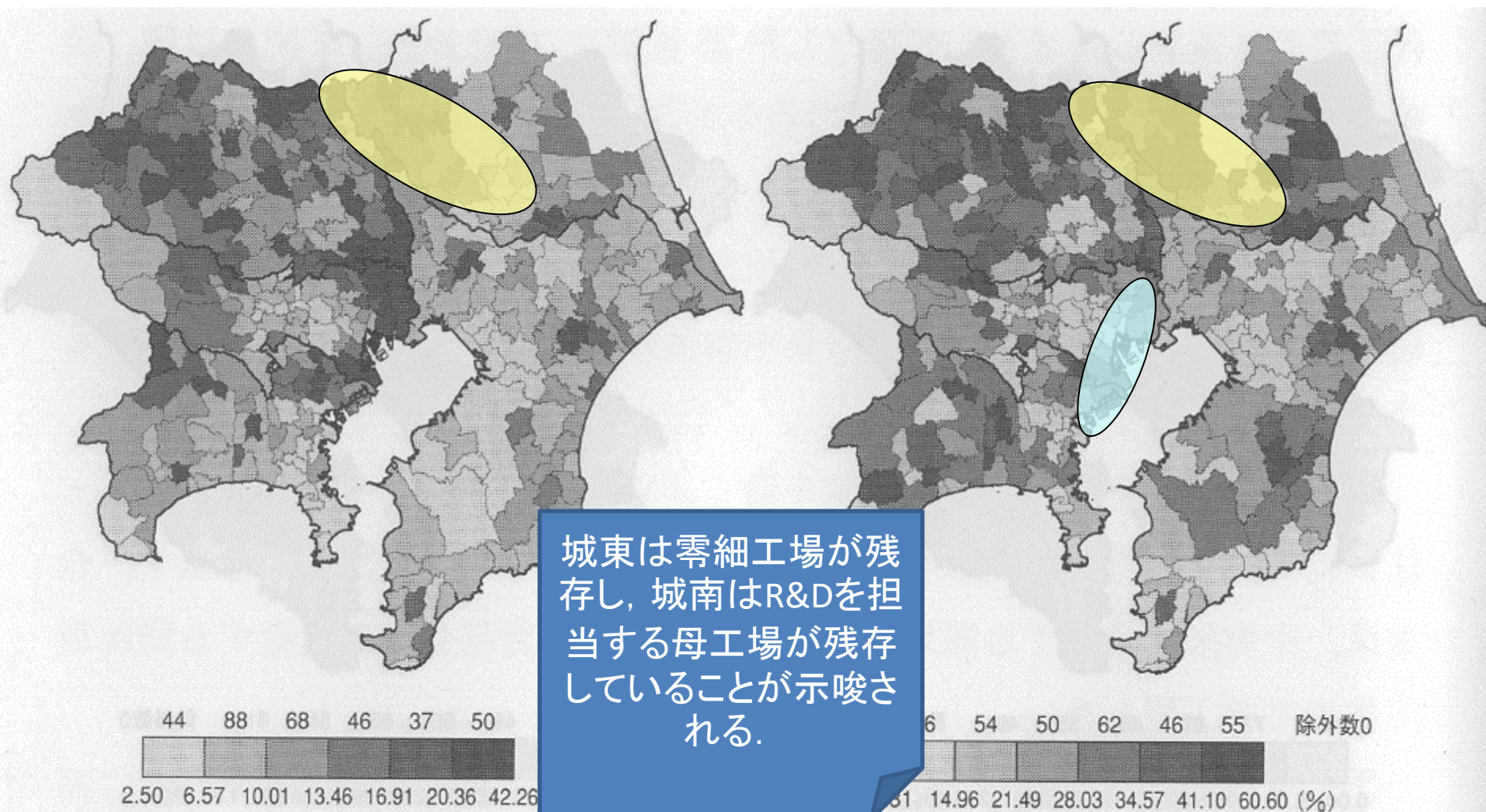
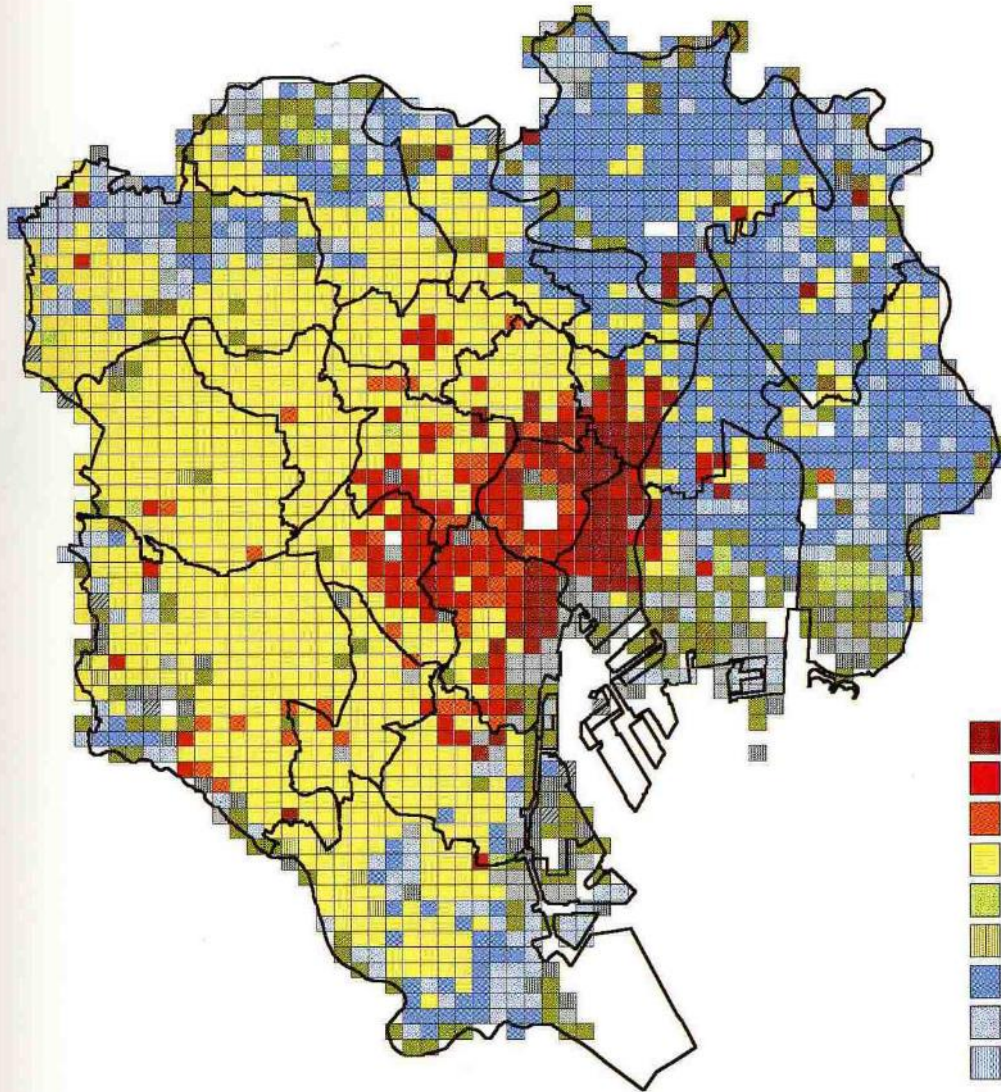


図 6A29 製造業事業所比率 91

図 6A30 製造業従業者比率 91 ²²

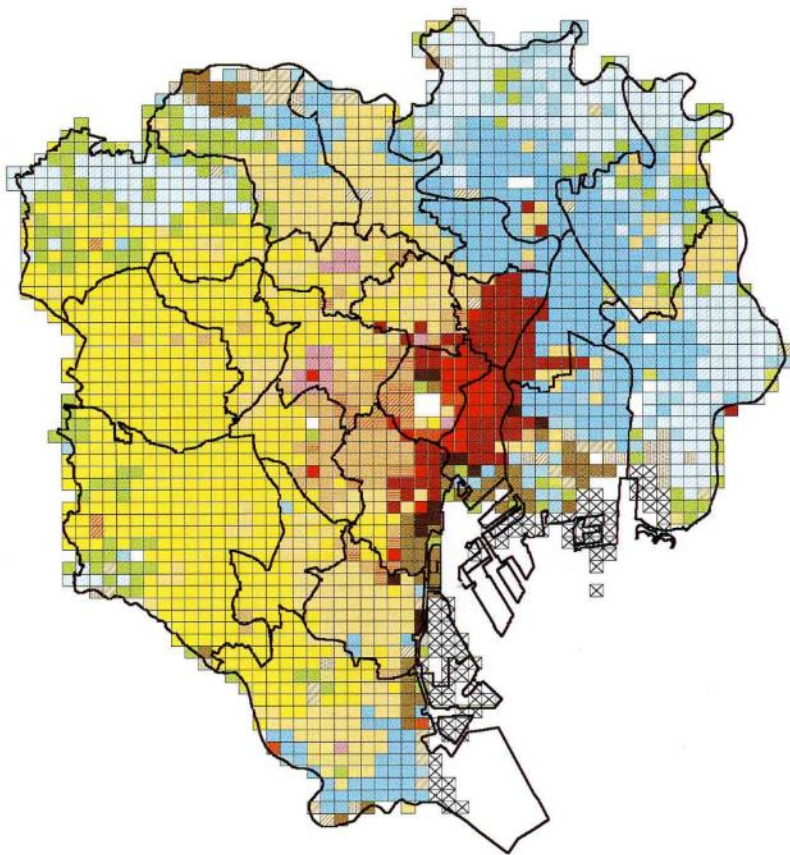
東京23区クラスター図90



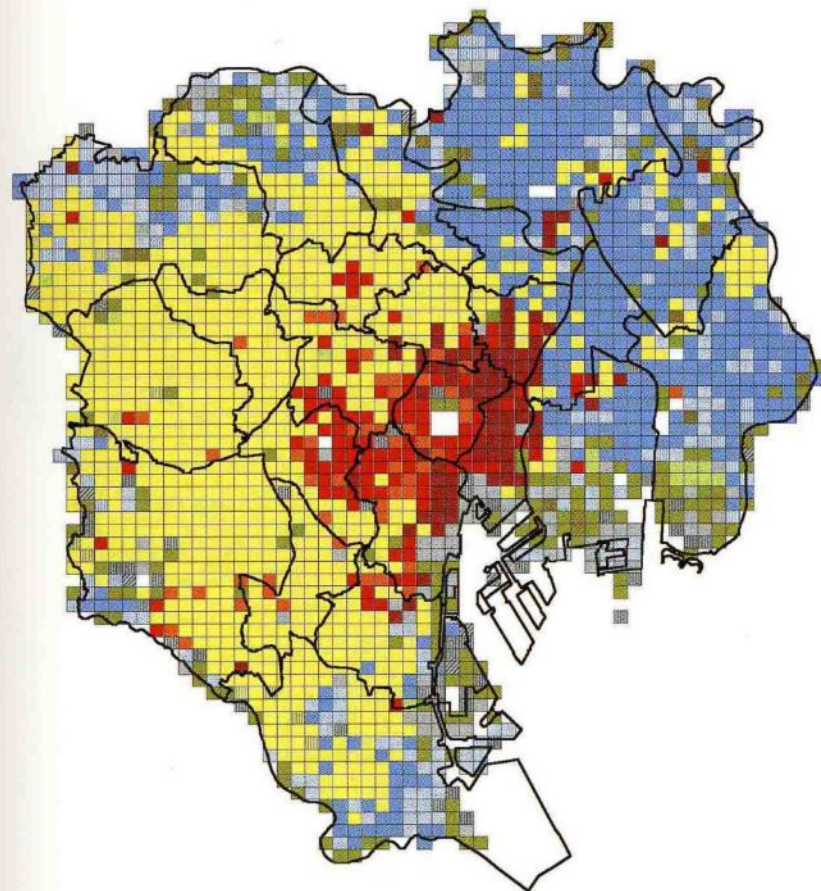
カラー図6 東京23区クラスター図90

■ 繁華街地区 A (90)	■ 団地特化地区 A (185)
■ 繁華街地区 B (106)	■ 団地特化地区 B (15)
■ オフィス・マンション地区 (52)	■ 団地特化地区 C (6)
■ ホワイトカラー地区 (942)	■ 団地特化地区 D (13)
■ ホワイトカラー人口再生産地区 (21)	■ 大規模施設地区 A (57)
■ ホワイトカラー高齢化地区 (8)	■ 大規模施設地区 B (79)
■ ブルーカラー地区 (519)	■ 大規模施設地区 C (9)
■ ブルーカラー人口再生産地区 (158)	
■ ブルーカラー戸建地区 (77)	

東京23区クラスター図



75年



90年

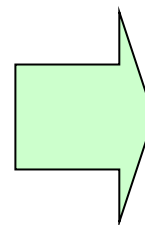
脱工業型社会における都心の再利用

【バブル崩壊後】

- 国公有地売却政策
- 容積率の規制緩和
- 不況に苦しむ企業は都心の土地を売却
- 住宅価格の下落
- 住宅ローン金利の低下
- 住宅所得者に対する所得税控除

- 第2次ベビーブーマーが住宅購入年齢に達した

都市の時間



都心における分譲マンションブーム



都心の再利用

家族の時間

(平山, 2006)

Contents

- 人口動態からみた、郊外化と再都市化
 - 郊外化：高度経済成長期～バブル経済期
 - 再都市化：バブル崩壊後（1997年以降）
- 社会地図でみる、郊外化と再都市化
 - 団塊の世代の分布
 - 脱工業化に伴う城東・城南地区の変化
 - 都心における分譲マンション・ブーム
- **<つながり>の位相**
 - 都会人の社会関係
 - 地域特性と<つながり>の位相
- フードデザート問題

都会人は孤独である

- ゲマインシャフト（本質意志に基づく結合）からゲゼルシャフト（選択意志に基づく結合）へ（テンニース, F. Tönnies, 1855-1936）
 - 生活様式としてのアーバニズム（ワース）
 - 空間的に凝離する（棲み分けが進行する）
 - 第1次的関係から第2次的関係へ
 - バラバラで流動的な大衆の集まりへ
- ※大量生産体制の確立，画一的で物質的な大衆文化が浸透した1930年代のアメリカを的確に描写

森岡清志『改訂版 都市社会の人間関係』放送大学教育振興会2004

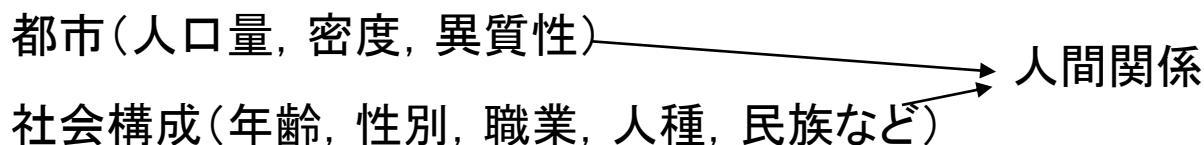
都会人は孤立していないし、病的でもない

☆たしかに、都市内部の貧困層集住地域では社会的解体が見られる。

←しかしそれは、経済的貧困のためであり、都市の規模や密度のためではない

☆独身者や子どものいない夫婦が住んでいる地域（都心部）ではコミュニティに深く関わらない。

←しかし、結婚して子育て期になると、郊外地域に移り住みコミュニティに参加するようになる。



都市には新しいタイプのネットワークがある

- コミュニティ解放仮説（ウェルマン, B. Wellman）
 - 交通・通信手段の発達によって、親密な絆が空間的な制約から解放され、広域分散的なネットワークの形で存続している
- 都市下位文化理論（フィッシャー, C.S.Fischer）
 - 異質な人びとが大量に、しかも高密度で暮らす
 - 非通念的文化を志向するもの同士が出会うチャンスが増える
 - 仲間の数が多くなるにつれて、そのネットワークを支える専門的な機関も発達する
 - ますます仲間をひきつけることとなる

社会システムの変化

- 生活問題の共同処理
 - 清掃活動, 治安維持
- 生活問題の専門処理
 - 清掃業者, 警察やセキュリティサービス
- 共同処理と専門処理のバランス(倉沢進)
 - 町内会, PTA, 親父の会

Contents

- 人口動態からみた，郊外化と再都市化
 - － 郊外化：高度経済成長期～バブル経済期
 - － 再都市化：バブル崩壊後（1997年以降）
- 社会地図でみる，郊外化と再都市化
 - － 団塊の世代の分布
 - － 脱工業化に伴う城東・城南地区の変化
 - － 都心における分譲マンション・ブーム
- <つながり>の位相
 - － 都会人の社会関係
 - － 地域特性と<つながり>の位相
- フードデザート問題

地域特性を考える

- 東京都墨田区東向島
- 東京都中央区銀座
- 東京都多摩市
- 千葉県浦安市舞浜1-1



東京とは
どこか？

東京都墨田区東向島

- 東京の下町
- 狭隘な道路
- 木造密集住宅

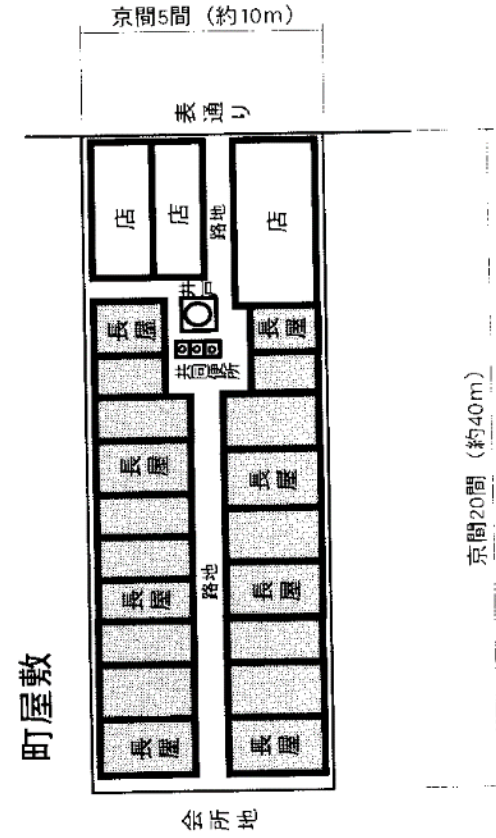
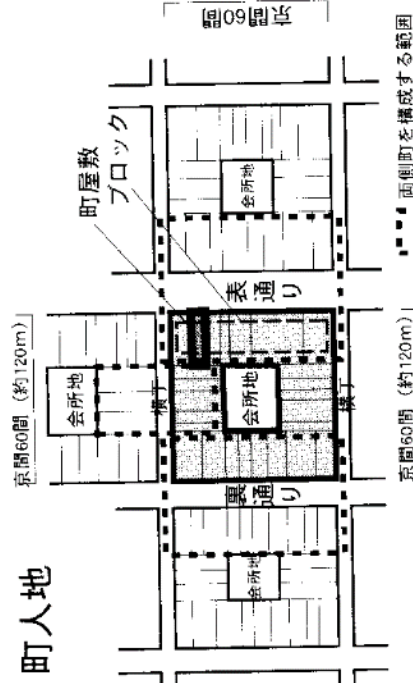
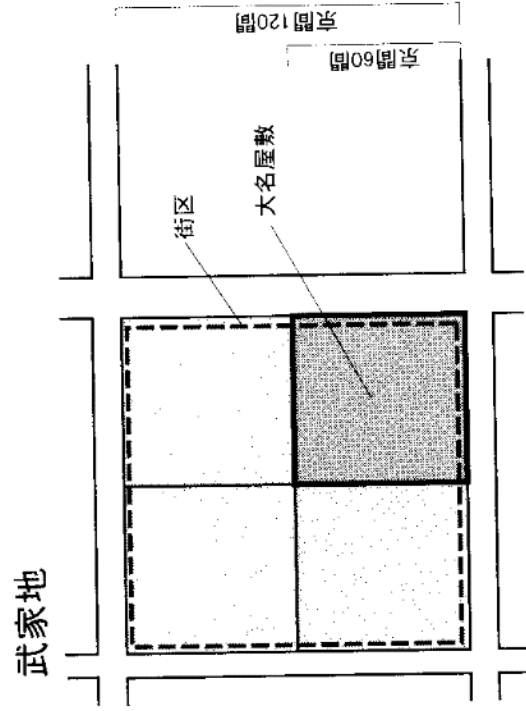


路地尊

東京都中央区銀座



江戸建設当初の街区構成と町屋敷



東京都多摩市



地域社会ごとに
〈つながり〉の位相が
異なると予想される。

Contents

- 人口動態からみた、郊外化と再都市化
 - 郊外化：高度経済成長期～バブル経済期
 - 再都市化：バブル崩壊後（1997年以降）
- 社会地図でみる、郊外化と再都市化
 - 団塊の世代の分布
 - 脱工業化に伴う城東・城南地区の変化
 - 都心における分譲マンション・ブーム
- <つながり>の位相
 - 都会人の社会関係
 - 地域特性と<つながり>の位相
- **フードデザート問題**